

広報 **ふながた**

2005
6月
No.554

f u n a g a t a



もくじ

第19回東北輓馬競技舟形大会
まちづくりに君の力を！
職員採用試験受験案内
まちのわだい
良い歯の子

富長小学校5年生
田植え



人馬一体の150m 出番を待つ沼澤哲勇さん(一の関) 出走順を抽選 来賓あいさつ ひとレースごとにコースを整備 1袋75kgの積荷作業
会場全景(一の関大橋より) 会場内をパドック ボニー乗馬体験 一の関婦人会・若妻会の面々 会場ではどぶろくも販売

第19回東北輓場競技舟形大会

2005.6.19



すべての力馬がここに集結

第19回東北輓馬競技舟形大会が、6月19日(日)一の関河川公園輓馬競技場で開催されました。福島県を除く東北5県から集まった41頭の輓馬による馬力勝負に、約4000人の観衆は大きな声援を送っていました。

この輓馬競技は、年齢や強さに応じて9クラスに分けられた馬が、砂袋を乗せたそりを引いてタイムを競うもので、150メートルのコースの、大小二つの障害を越えなければならず、特に高さ2メートルの障害はコース最大の難所となっています。

横綱級の馬で競われる一流馬の体重はサラブレッドの約2倍)のレースは、260貫(975kg)の砂袋をおよそ200kgのそりに乗せて(合計1、175kg)引張る、文字通りの馬力勝負。力自慢の馬と引き手が呼吸を合わせながら少しずつ障害をのぼっていく様子に、観客も思わず身を乗り出し、手にも力が入ります。

また、お昼には、一の関町内会婦人会・若妻会による「花笠音頭」「舟形小唄」の踊りや、舟小の子どもたちによる「キッズソーラン踊り」が大会に華を添えてくれました。





私もガンバってます

まちづくり課主事補
沼澤 忍(26)

皆さんは役場にどのようなイメージをお持ちですか？私はこの3月まで民間企業に勤務していました。

役場職員として働くようになってはじめて、役場の果たす役割が少しずつわかってきたように感じます。生活には必要不可欠なのですが、様々な手続きや届出はなかなか面倒で難しかったりしますよね。

今は町民の皆さんがいらした時、きちんとした対応ができるように猛勉強しています。

そして、町民の皆さんと一番接することが多い窓口にいる私は、皆さんに笑顔をつせるぐらいの笑顔で対応出来るようがんばっています。

皆さんも私と一緒に町民の方々の笑顔を作ってみませんか。

私が鍛えましょう

振興課長
佐藤 武憲(58)

役場職員に限ったことではありませんが、社会人としての“心得”

その1…挨拶がきちりできること。

その2…時間を守ること

その3…人の話をよく聞けること

その4…約束を守ること

その5…家族を大切にすること

今の時代は少子・高齢化や情報化、経済の低成長など、今まで経験したことのない社会が現実味を帯びてきています。こういう時代において、前述した基本を守り、各事例に対処できる、洞察力や判断力を培っていくことが大事だと思います。

若い力に期待する!!

これからの行政を担う

君へ



あなたの力を まちづくりに 活かしてみませんか!!

町ではこの4月から行政機構の見直しを行い、行政組織を係制から班体制に変えました。
今後、行政運営の課題解決や自立に向けたまちづくりのためには、職員の資質の向上は欠かせないものとなります。
ついては、来年度の職員採用(1名)試験のご案内とともに、役場で行っている仕事について、ある職員にスポットをあてて紹介します。

町の職員は
どんな仕事をして
いるんだろう?

今回は人鍬俊勝さん (振興課農業観光班主任) の仕事ぶりを追ってみましょう



〜 鞍馬大会を成功へ導くために 〜



鞍馬大会実行委員会や各種団体と打合せ2ヶ月前から打合せ。一つの事業をするには、たくさんの方々と役場職員が一緒になって取り組んでいるんですね。



地元町内会長さんと打合せ
地域の理解と協力が当日の流れをスムーズに。成功への鍵はこういうきめ細かな連携にあるのかもかもしれませんね。



協賛金の受け取り
業者さんへ電話をしたり、会社へ行ったりして協賛金依頼。大切な運営費となっています。



会場事前準備
地域の方と共に汗を流して準備。みんな一丸となって一つのことに取り組むって良いですね。



「障害(山)づくりも順調だな」



勿論デスクワークも一つの仕事に専念してばかりは出来ません。いろいろな仕事を掛け持ちしています。

いよいよ当日
西へ東へ走る走る！
気の休まる暇はありません。



無事終了
後かたづけも大事な仕事。
最後までお疲れ様でした。

今回は振興課の職員にスポットを当てて、仕事内容を紹介しました。
役場ではまだまだいろいろな仕事があり、すべてが町民の生活や未来へ直結しています。皆さんも、自分の力を「まちづくり」や「地域づくり」に活かしてみませんか？

詳しい受験案内は
次ページをどうぞ。

第39回小学校陸上競技大会記録

<男子>

学年	今年度大会記録			大会ベスト記録		
	種目	記録	氏名(所属)	年度	記録	氏名(所属)
4年	100M	17秒5	小関 修人(富小)	H14	15秒8	伊藤 雅人(舟小)
	1000M	3分56秒4	伊藤 和明(長小)	H15	3分47秒4	長南 悠樹(舟小)
5年	100M	16秒4	八鍬 翔(舟小)	S55	14秒5	八鍬 光(舟小)
	1000M	3分53秒3	八鍬 翔(舟小)	S57	3分22秒1	武藤 明紀(舟小)
	走り高跳び	1m5	星川 優也(舟小)	S54	1m32	豊岡 修(富小)
	走り幅跳び	3.32m	井上 将太(舟小)	S55	4m33	八鍬 光(舟小)
	ソフトボール投げ	42.60m	豊岡 廣大(富小)	H3	52m26	渡部 浩司(長小)
6年	100M	15秒4	鎌田 輝(舟小)	H6	13秒7	曾根田 学(富小)
	1000M	3分37秒1	長南 悠樹(舟小)	H4	3分14秒6	奥山 良祐(舟小)
	走り高跳び	1m19	斎藤 恭平(舟小)	H7	1m36	浅沼 慎一(長小)
	走り幅跳び	3.83m	伊藤 龍希(長小)	H6	4m75	曾根田 学(富小)
	ソフトボール投げ	43.90m	磯谷 俊輔(舟小)	H1	66m10	阿部 雄二(長小)
400MR	1分03秒1	舟形小学校	H7	56秒5	長沢小学校	

<女子>

学年	今年度大会記録			大会ベスト記録		
	種目	記録	氏名(所属)	年度	記録	氏名(所属)
4年	100M	18秒0	戸塚 優香(富小)	H6	16秒5	吉田 睦美(舟小)
	800M	3分17秒2	渡邊 千裕(富小)	H16	3分01秒0	渡邊 緑(富小)
5年	100M	16秒6	土田 彩佳(舟小)	S56	15秒4	高橋 久佳(長小)
	800M	2分58秒0	土田 彩佳(舟小)	S60	2分47秒3	加藤 香織(堀小)
	走り高跳び	1m10	後藤 美紅(舟小)	S45	1m20	柴田名尾美(舟小)
	走り幅跳び	3.05m	叶内万由花(富小)	S61	3m83	大場 智美(舟小)
	ソフトボール投げ	31.45m	伊藤 沙希(長小)	H12	38m95	長沼 円可(富小)
6年	100M	15秒3	土田明日香(舟小)	S47	14秒4	高橋美津枝(長小)
	800M	2分53秒9	坂上 愛(堀小)	S62	2分39秒4	豊岡日登美(富小)
	走り高跳び	1m16	高橋 有香(長小)	S47	1m30	海藤 純子(堀小)
	走り幅跳び	3.53m	磯谷 莉朋(舟小)	S43	4m23	佐藤 峰子(堀小)
	ソフトボール投げ	29.97m	齊藤まどか(堀小)	H11	43m87	松井 雪華(舟小)
400MR	1分05秒5	舟形小学校	H3	60秒6	長沢小学校	

平成17年度

舟形町職員採用試験受験案内

願書の受付期間及び時間

- ・平成17年7月4日(月)～8月5日(金)まで《当日消印有効》
- ・午前8時30分～午後5時まで《土・日曜日、祝祭日は除く》

願書受付場所 / 舟形町役場 総務課総務班

試験区分・採用予定人員・職務内容

試験種目	採用予定人員	職務の内容
初級行政	1名	舟形町の一般行政事務に従事します

受験資格

昭和54年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた方で、高校卒業(卒業見込み)以上の学歴を有する方。
 町内に居住し(採用後に居住予定を含む)通勤可能な方
 次のいずれかに該当する方は受験できません
 日本国籍を有しない方
 地方公務員法第16条に該当する方

試験日・試験会場

試験	試験日	職種区分	試験の種目	試験時間	試験会場
第1次	9月17日	一般行政	・作文試験 ・面接試験	午前9時～午後3時 (昼食は各自)	舟形町役場
第2次	9月18日	一般行政	・教養試験 ・適性試験	午前10時～午後1時	新庄市立新庄中学校

受験申込用紙の請求先

舟形町役場総務課総務班
 郵便で請求する場合は、封筒の表に「採用試験申込用紙請求」と朱書きし、440円切手(簡易書留)を貼った宛先明記の返信用封筒(定形外・角形2号)を同封して下さい。

合格発表

10月下旬までに、合否を全員に書面で通知します。

給与等

舟形町一般職の職員の給与に関する条例、規則等に基づいて支給されます。

例(H17.4.1現在)

高校卒の場合	138,800円
短大卒	148,500円
大学卒	160,200円

請求・問い合わせ先

舟形町役場総務課
 〒999-4601 最上郡舟形町舟形263
 TEL 0233-32-2111(内線 総務班46、48)



B&G体験クルーズ感想文

平成17年3月26日(土)～3月31日(木)

「楽しかった小笠原」
 堀内小学校6年 森 祐太郎

この体験クルーズで僕は初めて船に乗りました。初めは、揺れはなくとても快適でしたが、少し暗くなるのと揺れはじめ、とても気持ち悪くなりました。ぼくは、「こんなことなら来なければよかった」と思いました。夕食のウエルカムパーティでも全く何も食べられませんでした。

翌日は、調子も良くなりご飯も食べられました。3日目は、待ちに待った小笠原。僕たちはカメの放流をして、次にライフセービングとサングの観察をしました。
 4日目は、雨が降りカヌーもホイールウォッチングも出来なかったのので、次はライフセービングとサングの観察をしました。

最終日に、フェアウエルパーティをしました。このときも全然食べられませんでした。今回のクルーズで色々な事を勉強することができました。

「小笠原に行つて」
 堀内小学校6年 大山 拓

東京湾から出て二日目によやく小笠原諸島に着きました。7時半ごろに下船し、小笠原の父島に行きました。小笠原に行つてまず、自然観察で浜辺を歩いたり山に登ったりしてすごく疲れたけど、普段見慣れた舟形町の風景とは違って、とても楽しかったです。

次に、カヌーに乗ったとき、最初はやりかたがあまり分からなかったけど、やっているうちに段々おもしろくなってきました。その後、昼食をとったり買い物したりして一日楽しく過ごしました。
 翌日は、小笠原の公園で南洋踊りという踊りを体験したけど、難しくとうまく踊れませんでした。
 その後歩いて海に行ったら、そこにはいろんな種類のサングがいっぱいいて感動しました。

今回の旅で、日本全国から参加した友達や、小笠原の人とも友達になれたけど、別れるときは寂しかったです。
 また、心に残る貴重な体験を提供してくれた皆さまに感謝します。



幅地区未来構想実現に向けて ～共同作業で“孟宗筍”を植栽～

町報1月号から3月号の中で紹介した、「幅地区の地域づくりの未来構想施策」の具現化プログラムの一つに“孟宗筍の植栽と食事会”があります。この度、この構想の実現に向けて、幅グラウンドの西側法面に同地区の伊藤次男さん所有の竹9本を移植しました。

作業は、6月5日(日)に行われた地区内の草刈り、側溝の泥上げなどの共同作業と一緒に実施されました。『元気に根付きますように...』と願いを込めた御神酒を上げ祈願し、数年後には“筍”を収穫して筍汁で食事会をする計画です。

作業終了後は全員で慰労懇親会が開かれ、この中でも地区内の各年代のコミュニケーションが図られると共に地域づくりの大きな活力にもなりました。



わだい



明るく 楽しく 歩こう 13km チャレンジャー8

6月10日深夜～11日未明にかけて、富長小学校6年生8人によるナイトハイキングが行われました。

小雨が降る中、富長小学校を深夜0時に出発した一行は、若あゆ温泉を目指し、車で10分少々13キロの道のりを、歩くこと5時間。車内では気づかなかった、ふとした所に生えている山菜やどこまでも続く杉林などたくさん新発見があったり、初夏の大冒険になりました。

明朝5時、温泉に到着した一行はもう、クタクタ。朝ご飯を食べた後、温泉で体を癒しました。

子供たちにとって今回の体験は、お金をかけた楽しいだけの学年行事ではなく、みんなで力を合わせた達成感と感動など、得ようとしてもなかなか得られない、心に残るものではなかったでしょうか。

わだい

秋の収穫が楽しみ!

わだい

5月28日(土)、富長小学校校庭下の学校田(2アール)において、5年生11名が田植えを行いました。

今回植えたのは普通米と長丈米の2種類のモチ米で、長丈米とは日本テレビ系番組「DASH村」でも栽培された米で、山形県立村山農業高校が15回の配合のすえ生み出した品種です。収穫量が多く、病気に強く、また、生育すると背丈が約180cmにも伸びることから長丈米と呼ばれています。

大きさ、味ともに、秋の収穫が楽しみです。



星川千明です
S.59.10.25
現在の職業は...会社員をしています。
趣味は...土日は新庄に飲みに行くことが多いかな。
今何がしたい...海のきれいな海外へ旅行へ行きたい。
町の良いところは...子どもからお年寄りまで触れ合いがあり、ほのぼのしているところ。
町に望むことは...河川のどこでもバーベキューや芋煮が出来るように整備して欲しい。
千明ちゃんから一言...成人式でみんなに会えるのを楽しみにしてるよ(人)!



町内小学校陸上競技大会が6月8日(水)舟形小学校グラウンドで行われました。(記録と結果はP7へ掲載)



いよいよみなさんの喉に届きます

わだい

6月16日(木)、若あゆ温泉に於いて、どぶろく完成試飲会(小国川観光主催)が開かれました。

昨年12月に「どぶろく特区」に認定された町では、小国川観光さんが「どぶろく」製造許可を取得し、5月21日より仕込みを始めていました。

関係者約40名を招いて行われたこの試飲会では、普通の米を使った白い酒「雪げしき」(スッキリ味)と、古代米を使ったピンクの酒「雪の華」(甘口)の2種類のどぶろくの他、どぶろく鍋なども試食され、出席者にも大好評でした。

参加した伊藤町長も「町の商工観光の起爆剤」になればと期待を寄せていました。

今月17日から自宅の製造所(内山)と小国川観光、若あゆ温泉に於いて販売が開始されており、4段仕込み製法で造られた白とピンクのおめでたいセットが話題を呼びそうです。

価格(税込み)		
一合	雪げしき	雪の華
量り売り	400円	430円
500ml	1,000円	1,100円
900ml	1,700円	1,800円
1.8L	3,000円	3,200円

問い合わせ / 小国川観光製造所
TEL 0233-33-2103

わだい

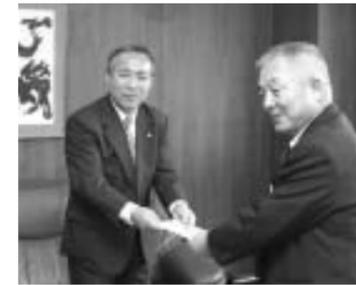
宅急便のお兄さんがこども交通安全教室を開催

ヤマト運輸では、子どもの交通事故防止を重要なテーマのひとつと考え、平成10年より、実際のトラックを全国各地の保育所、幼稚園、学校などに持ち込み「こども交通安全教室」を開催しています。

この度、町立3保育所を訪問し、運転席に子どもたちを乗せ、車には危険な死角があることも教えたり、社員が着ぐるみを着るなど大熱演で交通ルールを教えたり、時にはトラックを動かし、人形を使って事故の再現をするなどし、交通ルールを教えていました。子供たちは、実際の宅急便のお兄さんやトラックに大喜び。「道路を渡る時は左右をしっかりと確認します」「交差点では一歩下がって待ちます」など元気いっぴいに誓いを立てました。



町内の小国川各所に稚鮎1,680kgが放流されました。(富小1・2年生)



東北電力より7灯の街路灯が寄贈されました。(5/25)



17年度の山形県交通安全協会副会長理事及び最上地区交通安全協会会長に、高橋義昭さん(富田2)が選任されました。

良い歯の 大変よくがんばりました

平成17年5月24日に行われた3歳児健診でむし歯のなかったお子さんです。



星川 優里ちゃん
(拓郎：舟形3)



豊岡 楓華ちゃん
(和則：長者原)



早坂 勇人くん
(健吾：富田1)



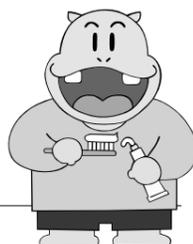
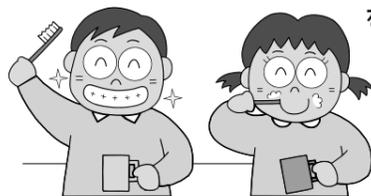
庄司 早南くん
(聡：太折)

むし歯を作らないためには

仕上げみがきは最低条件、フッ素の利用で歯を丈夫にすること、糖分の摂取回数(だらだら食い)

をひかえることがポイントになります。

子どもの生活全般についてもう一度ふり返りましょう。



平成16年度における 中山間地域直接支払制度の 実施状況をお知らせします。

1 集落協定等の認定結果

(1) 協定認定数	35件
集落協定	35件
個別協定	0件
(2) 協定参加農業者等	
集落協定	678件
個別協定	0件

2 協定認定農地面積状況

(1) 協定認定農用地面積	
(急傾斜農地)	1,615,829㎡
(緩斜面農地)	2,062,983㎡
(2) 認定農地の内訳	
田	3,678,812㎡

3 直接支払交付金交付額

50,436,273円

4 平成16年度実施団地数

63団地

平成17年度 「緑の募金」の報告とお礼

4月下旬から5月中旬にかけて、皆様のご理解とご協力のもとに実施されました「緑の募金運動」では、173,283円の募金が集まりました。本当にありがとうございました。

集まった募金はボランティアによる緑化活動や森林保全の啓蒙活動などに役立てられます。こうした活動は全国的に広がりを見せており、当町でも平成2年度に舟形町緑の少年団を結成して以来、緑化活動を通して、子供達の“緑を育てる心”をはぐくんでいます。

また、このような活動は地球環境を守るためには不可欠な活動であります。森林は地球温暖化の原因とされている二酸化炭素を吸収し、酸素を放出しています。しかし、この働きは森林自体が健全でなければ効果的に発揮されることはありません。

健全な森林は、皆様からいただいた善意が土台となり形成されています。

これからも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

7月は 第55回 “社会を明るくする運動”

強調月間です

保護司は民間のボランティアです
保護司は、保護司法に基づき、法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員(実質的に民間のボランティア)です。

主な活動は、犯罪や非行をした人に対する保護観察活動や犯罪予防活動です。

5月18日から保護司2名が替わりました。星川八重子さん(舟形3)から二藤部榮子さん(舟形4)に、故矢口昭さん(西堀)から伊藤清紀さん(西堀)に替わりました。

星川さん、故矢口さんには、長い間ご尽力いただき、本当にご苦労様でした。

私たちが町の保護司です

伊藤 政春(野) 二藤部 榮子(舟形4)
伊藤 清紀(西堀) 豊岡 作雄(長者原)
加藤 勝利(堀内)



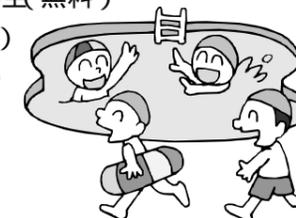
B & G 海洋センターから お知らせ

プール監視員募集

- 【対象】 18歳以上の男女(高校生は除く)で泳げる方
- 【募集人数】 若干名
- 【勤務日時】 7月21日(木)~8月28日(日)
午前8時30分~午後5時15分
金・土曜日の夜間開放日
午後6時30分~午後8時30分
休日は週1~2回交替で
- 【勤務内容】 プール監視・プール管理清掃・その他
- 【申込切】 7月8日(金)午後5時まで
- 【賃金】 時給 700円
- 【その他】 採用者には、心肺蘇生法の講習会を受講していただきます。

プール一般開放

- 【期間】 7月23日(土)~8月28日(日)
- 【開放時間】 月~日曜日
午前9時00分~午前11時45分
午後1時~午後4時30分
金・土曜日の夜間開放日
午後6時30分~午後8時30分
- 【使用料】 幼児・小中学生(無料)
高校生(60円)
大人(110円)



【申込み・問い合わせ先】 B & G 海洋センター (TEL: 32-3501 FAX: 32-2751)

ふれあい広場 VARIETY INFORMATION

あなたの声をお寄せ下さい
まちの話題、疑問、質問、
提言・意見のほか、会員募
集やりサイクル情報（譲り
たい、譲ってほしい）、イ
ラストなど何でも結構です。
広報紙上でできるだけ紹
介していきたいと思ひます。

まちづくり課 統括班
32-2111 内25

広報に寄せられた はがき紹介コーナー

若あゆ温泉はみんなの憩いの場です。マナーを守ってご利用下さい。
7月の若あゆ温泉の休館日は、7月13日(水)、27(水)

「町内会長さんは町内に
あつては地域づくりのリー
ダーとして町役場との連絡
役など一生懸命に頑張つて
いると思ひます。以前、山
形新聞に新庄市の区長会（町
内会長会）が報酬が安いの
で引き上げて欲しいと市長
に要望を出している記事が
ありました。舟形町では町
内会長さんに報酬を出して
いるのでしょうか？」
出していただければいい
でしょうか。是非、教えて
欲しいと思ひます。」

【匿名希望50歳男性】

町内会長報酬	・年額70、000円
・1、600円×世帯数	
納税組合長報酬	・年額39、000円
農事実行組合長報酬	・年額23、500円
農事実行員	・年額13、500円
統計調査員	・年額10、000円
消防団員	・年額13、000円
その他の員	・日額6、000円

（舟形町特別職の職員の給与
に関する条例 別表第3
号 一部抜粋）

【総務課総務班】

新庄警察署からのお知らせ

～交通事故の半数が高齢者～

最上地方で65歳以上の高齢者が関係する交通事故は14.2%ですが、死亡した人の半数が高齢者です（6月5日現在）。
県全体でも同じ傾向です。
次のことを守りましょう。
車に乗ったら（同乗者も）「シートベルト・チャイルドシート」の着用
夜間の外出危険がいっぱい「必ずつけよう 反射材」
人も車も自転車も「しっかり止まって はっきり確認」

若あゆ温泉 ビアガーデン開催

日時 / 7月30日(土)午後
5時～
場所 / 温泉前駐車場 特
設会場
料金 / 前売り券発売中1、
500円（生ビール3杯、
つまみ付き）カラオケ有り、
大抽選会有り
問い合わせ / 若あゆ温泉
3213655

舟形文芸ひろば

短歌	雨より雲間にわずかに青い空町の灯ともり夕やけに染む 伊藤 よし子(舟形一)
	洗濯機回しつ扇子袋縫ふ初夏日とテレビは言ひぬ 石川 玲子(埼玉)
	明け暮れの四季変わりゆく里の景心せくとも身はままならず 加藤 よう子(新庄)
	古稀むかへ邪氣払はむと菖蒲湯に四肢伸ばし入る端午の節句 布川 芙美子(横浜)
	代かきの終へし田の面は水すみて風走りゆき小波のたつ 佐藤 和子(舟形二)
	妹も兄も還らずさみどりの季めぐりきて一人草取る 梅津 トシ子(舟形三)
	検診の受付を待ち並びある去年と同じ顔触れへ坐す 佐藤 景雄(沖の原)
	木瓜の花の会 佐藤 景雄(沖の原)
	煙隅に己の色に群れて咲く踊子草にいぬふぐり草 星川 和子(西堀)
	残雪を踏み締め行けばそのたびにたまりし冷気ゆらぎ上り来 佐藤 和夫(西堀)
	裏庭で皆で食べたるカドの味家族と共に話しが弾む 渡部 捷一(光生園)
	春雑に期待をかけて野良仕事遠くに聞こゆ鶯の声 下田 篤(光生園)
	四季句楽歩
	【千風会「風」】 今いずこ諸国慢遊の鶴鳥風よしらせてもう夏ささす 景山 晃佑(仙台市)
	千風会 あの山のそのまた向ふ青嵐この身染めつづいのち育くむ 大場 喜代子(長沢一)
	千風会 街角は若きらあふれ風光るピルの谷間の老舗のれんの 高山 明子(仙台市)
	千風会 紀白のいちこの花を風ゆらすゆづさゆづさ何とを語らふ 小野 光子(真木野)
	千風会 たんぼの綿毛ふきくる露大風呂三白鳥の泳ぐがごとし 大場 秀子(長沢一)
	千風会 残雪の月山の木芽風さわさわと一気に吹きて青田かほらす 畠山 ひろみ(木友)
	千風会 雪もみじ真赤に敷きしむ山毛榉林若葉青菜の白南風に生れゆく 沼澤 千鶴子(鶴陽×舟形四)
俳句	初つばめ青天井をジェット飛び 石川 玲子(埼玉)
	飛行機になりて走りく五月の子 佐藤 孝子(舟形二)
	ままことに妻と招かる日永のな 伊藤 良文(舟形四)
	みどり増す季の巡りに惑ひけり 星川 政子(舟形三)
	土器拾ふ空はるかなり柿若葉 大場 小夜子(内山)
	最上路の山懐や辛夷花 井上 順子(野)
	朝の会 お花見の児は真先に夜店かな 柏木 伸子(長沢三)
	朝の会 傘をさす粋な牡丹を振りにけり 佐藤 昭子(長沢一)
	朝の会 ぜんまいは天日か勝負一日もむ 岸 良子(長沢三)
	朝の会 今盛る亀割峠の山桜 齊藤 若子(内山)
	朝の会 雨に濡れ新緑光る窓の外 後藤 心み(光生園)
	四季句楽歩 ひと時の雨も風情や山若葉 原田 正昭(光生園)
	四季句楽歩 新緑や友と一緒にドライブす 五十嵐 ちえ子(光生園)
	四季句楽歩 雪解けて大川海に入りけり 高橋 玲子(光生園)
	四季句楽歩 葉桜や四方の山々緑立つ 五十嵐 ノブ子(光生園)
	四季句楽歩 鯉のぼり大空高く舞い泳ぐ 柴田 喜美男(光生園)
	四季句楽歩 花植へてほっと一息昼下り 齊藤 由里子(光生園)
	四季句楽歩 鯉のぼり愛し我が子の初節句 安達 直美(光生園)
	四季句楽歩 新緑や心やわらわ九輪草 上山 貴子(光生園)
	四季句楽歩 母の日に感謝を込めてブレゼント 早坂 美江子(光生園)
	四季句楽歩 風薫る森林浴に夫婦して 伊藤 正子(光生園)
	四季句楽歩 廃校の桜雪吹きや峡の村 興 珠子(野)
	四季句楽歩 水芭蕉蕉呼びよせる雨しづく 中川 恵美子(木友)
	四季句楽歩 記録会カツツポーズに風光る 高橋 信子(長沢三)

新刊書の紹介

(中央公民館図書室)



川センのがっこ通信
(本の森)

明倫中・最上中の学級担任時代の
9年間で体験したエッセイ。時には
ユーモア溢れるエピソードを交えな
がら、学校の中だからこそ見える生
徒の明るく奔放な姿を浮かび上が
らせている一冊です。



舟形中学校
川上 陽一 教諭 (42)

「現代の中学生は何を考え、
学校生活を送っているのだろうか。
親との距離が離れ始める頃、子
供たちは急速に成長を遂げる。
その変化に富んだ日々を共に過
ごすことができるのは、担任に
とってこの上もない喜びである。」

環境エコ 始めました

町では、冷房設備の省エネ対策と地球温暖化防止
のため、夏の室内温度を28 程度にすることにし
ております。
その取組みの一環として、町では6月1日からの
3ヶ月間、職員のノーネクタイ、ノー上着の軽装で
の勤務を奨励しております。
また、公式の行事、会議等において、町民の皆様
に対しても軽装での出席をお願いしたいと考えてお
りますので、「夏の軽装」へのご理解とご協力をお願
いします。

マメ知識 クールビズ

国では、28 の室温でも涼しく効率的に働くこ
とができる「夏の軽装」を推進していくため、夏の
新しいビジネススタイルの愛称を「COOL BIZ
(クールビズ)」とし、広く国民への普及啓発を進め
ております。「クールビズ」とは「涼しく効率的に格
好良く働くことができる」というイメージを分かり
やすく表現した、夏の新しいビジネススタイルの愛
称です。
町民の皆様にも、ぜひ地球温暖化防止活動を推進
していただき、夏のビジネススタイルとして「クール
ビズ」(ノーネクタイ、ノー上着)をお薦めします。



鮎釣りの聖地

小国川といえば鮎。鮎といえば小国川。というくらい小国川の鮎は全国的に有名で、シーズン近くになると、鮎釣り専門誌等に毎回と言っていい程、小国川の情報が掲載されています。また、各釣り具メーカーが東北No.1と絶賛するこの小国川では毎年、全国・東北規模の鮎釣り大会がいくつも開催されています。

このことは舟形町にとって大変名誉なことであり、誇るべきことでもあります。というのも、全国には約3万本もの河川があり、舟形町同様「若あゆの里」をキャッチフレーズにしている町もある中、小国川がその会場として選ばれているのです。言い換えれば小国川は舟形町の宝であると同時に、日本の釣り師たちにとって宝なのです。

しかし、普段生活している私たちにとって鮎釣りはスポーツ・趣味の一つでしかなく、あまり馴染みがないのと同時に、心ない釣り師たちが捨てるゴミ等が問題となるなど、宝としての認識は薄いのが現状です。

今、小国川のように鮎やカジカなどの川魚が多く生息する河川は全国的にも少なくなっています。川に触れることが少なくなってきた近年、この小国川を財産と認識し、私たちも釣人たちも積極的に保護活動に取り組む必要があるのです。それが、小国川へ対する恩返しになるに違いありません。



県内では、飯豊町、村山市に次いで3番目の「どぶろく特区」に認定され、6月17日から町内でもどぶろくがおおやけに飲めるようになりました。先日の取材後に購入し、自宅で試飲したのですが、飲み口がGOOD！口当たりの良さにつられて、いつの間にか酔いが回って「グラグラ」のさっぱり感と、「ペンク」のほろ甘さは体験する価値有り。

「真夏のどぶろく」粋なもんでよ。舟形町消防団全21部の皆さんは、朝練or夕練でクタクタではないでしょうか？

6月26日のポンプ操法大会では、練習の成果を存分に発揮し、町の優勝、また4年ぶりの郡大会優勝目指して頑張ってください。

(まな)

Public Relations Funagata

広報ふながた

2005 JUN no.554

【編集・発行】舟形町役場まちづくり課
〒999-4601 最上郡舟形町舟形263
tel. 0233(32)2111 fax.0233(32)2117
メールアドレス kikakupr@town.funagata.yamagata.jp
http://www.town.funagata.yamagata.jp